

コンサルティング・プロジェクトの実践展開

～大学院経営研究科ビジネスイノベーションコースの実践経営学教育～

経営研究科 経営専門職専攻

教授 ^{うめのなおとし} ○梅野巨利

キーワード

コンサルティング・プロジェクト、海外企業研修、香美町商工会、産学連携事業、実践経営学

研究概要

【「理論と実践の融合」教育を体現するコンサルティング・プロジェクト】

大学院経営研究科は2010年4月に「理論と実践の融合」をキーコンセプトに本学神戸商科キャンパスに新設された経営専門職大学院（通称 MBA）です。4つのコースのうち、主として学部新卒者を対象にしたビジネスイノベーションコースの必修科目「コンサルティング・プロジェクト演習」は、学内で学んだ経営理論を現場で活用するという実践経営学を体現するユニークな科目です。毎年、複数の産学連携プロジェクトが同時進行しており、学生の活発な学外活動が展開されています。以下は昨年度に実施されたプロジェクト事例です。

事例1： 海外企業研修（インド研修）

ビジネスイノベーションコースの学生は、毎年、海外企業研修に出かけ、国際ビジネスの現場に身を置きながら海外事業展開における諸問題について調査活動を行っています。1回生はインド南西部ケララ州で事業展開している日系企業を訪問し、現地人管理者の職務満足度調査を実施しました。その結果は現地のインド人経営トップ陣に対して英語で報告しました。

事例2： 香美町商工会様との産学連携事業

コンサルティング・プロジェクトは国内の産学連携事業においても展開されています。1回生は兵庫県北部の香美町商工会様のご協力を得て、同町の海産物資源の魅力を、主として中国人をターゲットにした訪日外国人観光客にアピールするための方策について提案いたしました。学生たちの活躍は同地の『新日本海新聞』2016年1月26日付でも報道されました。

事例3： 凸版印刷株式会社様との産学連携事業

2回生は凸版印刷株式会社様との産学連携事業において、尼崎の魅力を学生視点で再発見し、その魅力を日本語と中国語の2ヶ国語で情報発信するパンフレットを作成しました。尼崎の知られざるスイーツ店や七福神巡りなど、ユニークな案内書が完成しました。

アピールポイント

【学生視点の強み】

コンサルティング・プロジェクトは、「机上の空論」として揶揄されることもある経営学理論を、現実の経営の現場で活用してみることで、「理論と実践の融合」を学生自身が体感する実践的な経営学教育の効果があります。他方、産学連携先にとっては、プロジェクトを通して学生ならではの新鮮な視点やユニークな発想を得られるチャンスです。企業はもちろんのこと、行政、非営利団体など幅広い方面からお声かけいただき、本 MBA 学生の知性と感性を大いに活用していただければ幸いです。